

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年9月6日(2012.9.6)

【公開番号】特開2011-79218(P2011-79218A)

【公開日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2011-016

【出願番号】特願2009-233203(P2009-233203)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/337 (2006.01)

B 4 1 M 5/333 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/18 1 0 1 A

B 4 1 M 5/18 1 0 8

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月20日(2012.7.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

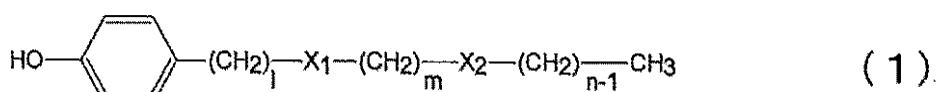
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

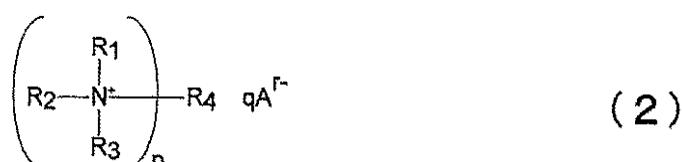
支持体上に通常無色ないし淡色の染料前駆体と、加熱温度および／または加熱後の冷却速度の違いにより相対的に発色した状態と消色した状態を形成させる可逆性顕色剤とを含有する可逆性感熱記録材料において、該可逆性顕色剤として、下記一般式(1)で表されるフェノール化合物を含有するとともに、消色促進剤として、下記一般式(2)で表される4級アンモニウム塩化合物を含有する可逆性感熱記録材料。

【化1】



(一般式(1)において、1は0から3の整数を表し、mは1以上の整数を表し、nは12以上の整数を表す。X₁はアミド基または尿素基を表し、X₂は酸素原子または硫黄原子を表す。)

【化2】



(一般式(2)において、R₁、R₂およびR₃は同義であり、互いに同じであっても異なっていても良い炭素数1～24の飽和または不飽和の炭化水素基であって、そのうちの2つの炭化水素基は互いに結合して環を形成していても良い。R₄は炭素数6から24の飽和または不飽和の炭化水素基を表す。pは1または2を表す。Aはアニオンを表し、qおよびrは分子内の電荷を0に調整するための整数を表す。)